

第三号議案

2024年度活動計画（案）

本年度「天の川クラブ」は「創立30周年」の記念の年を迎えています。高齢化が進み個々のパワーダウンは否めませんが、会員のボランティア精神は健在です。会員の力を結集して、地域になくしてはならないボランティア団体として邁進します。

(1)「創立30周年」～記憶に残る活力に満ちた1年に

①ナルク本部創立30周年にあたり、ナルク本部から下記のとおり基本的な「重点項目」が示されました。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 会員の増強 | 2. 会員間のつながり強化（ナルリンピック） |
| 3. 安心の確立（安心サポート） | 4. 地域社会との連携強化 |

本部に「ナルク発展委員会」が立ち上げられ、各項目別に「実行委員会」の設置により具体的に取り組みを推進中です。

②ナルク「天の川クラブ」の「創立30周年記念行事」の開催

会員が一堂に会し、共に祝いさらなる発展と心の通った強い絆づくりを期待して次の行事を行います。

1. 記念定時総会・記念式典 6月 6日（木）
2. 記念イベント 10月16日（水）

(2) 事業活動推進で地域との連携強化と健全な拠点運営

①「生涯学習情報プラザ」（受託事業）本年は4年契約の初年度であり万全の体制で運営に努めます。魅力的講座の提供で市民のPCスキルの向上を図ります。

②「生活支援員養成研修」（受託事業）の継続実施により、受講者の支援員登録を進め「ナルクすこやか」の円滑な活動に寄与します。

③「生活援助訪問事業ナルクすこやか」（認可事業）は開設8年目となります。地域包括支援センターと連携を密にし、更に充実した運営に努めます。

(3)「楽しいナルク」「安心のナルク」「感動のナルク」

①会員相互扶助活動は、利用と提供の双方向の活動を円滑に推進するように努め、「ひとり暮らし支援」も継続して利用会員に安心を提供します。

②地区会は、全ての活動の原点として参加者増を図り、地区の仲間同士の親密感を醸成していきます。また、スタッフ会メンバーが積極的に参加し、会員とのコミュニケーションを密にして活動の活性化を促進します

③ホームページは新鮮な情報を迅速に反映させ、幅広い世代に訴求します。

④「新会員交流会」「活動区分別交流会」「世話人代表者交流会」を通して、会員間の連携を密にして課題の共有化により組織の一体感を醸成します。

⑤研修会・同好会活動には市民の参加を呼びかけます。

(4) 地域密着の貢献活動

①「ナルクデー2024」は地域との共存をテーマに実施して、会員の環境美化意識の高揚と大規模実施により地域貢献を図ります。

②10月予定の「クリーン&ウォーク」にも積極的に取り組みます。

(5)「北河内地区連絡協議会」では拠点間の連携で課題の共有と改善を図ります。

1. 時間預託活動

近藤秀子・角山正男・一宮順世

会員相互扶助活動及び福祉施設活動は、感染症対策や夏季の猛暑対策を的確に判断し臨機応変に活動を進め、利用要望に応えるよう取り組みます。

会員の皆さんの時間預託提供活動に積極的な参加を期待します。

(1) 会員相互扶助活動

①家事・介助支援は、時間預託による会員相互扶助を柱にして活動します。

利用者・提供者の掘り起こしを図る手立てとして「出来る時に活動して必要としたときに支援を受ける」という相互扶助活動を推進するために各地区に出向き話し合う機会を設けていきます。

また、「ひとり暮らし支援」を通じて安心のナルクを目指します。

ひとり暮らし会員へのアンケートに基づき日常生活での支援、会員同士の声かけ、定期的な電話・訪問などの支援活動が気軽にできる体制づくりに努めます。

②庭・植木の手入れは、提供者確保が厳しい現実ですが各利用者宅（リピーター）の樹木の種類・数量等を把握して実施時期・提供者に工夫を凝らし対応します。夏季の猛暑・高所など危険が想定される場合はお断りすることがあります。

③ハウスヘルパーは「包丁研ぎ」の他、利用者の各種要望に応えるよう取り組みます。

④送迎は、安心、安全をモットーに、また感染症対策を十分とって活動します。

サブリーダー配置により体制を整え連携を密にして取り組みます。

新規の提供者を募集します。車椅子搭載の福祉車操作方法の習得につとめます。

⑤パソコン指導は、WINDOWS10 のサポート期限が、2025年10月となることから更新しない場合のリスクを啓発し、更新のサポートします。

また、地区会などでパソコン活用で困っていることをお聞きしサポート活動を進めます。

(2) 福祉施設活動

今年度も施設からの支援要望に対するボランティア活動を通じて、入居者の施設での生活がより充実されることを目指します。同時に会員の生きがいにつながるような活動を目指します。

「エイジフリー・ライフ香里園」「エイジフリー・ライフ星が丘」への提供活動に積極的に参加するよう努め、さらに新しい活動の分野を開拓するとともに、新しい提供者の掘り起こしをします。

2. 奉仕活動

辻 洋子・一宮順世

奉仕活動は、ボランティア活動の基本であり、地域貢献という大きな任務を担っております。安全安心なまちづくりをサポートするボランティア活動に参加することで地域貢献活動と併せて会員のつながりを大事にしていきます。

(1) 福祉施設支援活動

施設利用者との交流の中で、地域社会への貢献とともに会員の生きがいとなる活動を目指します。

また同好会（オカリナ、マジック、絵手紙、盆踊り等）の協力を得て、施設の要望に応じて活動に取り組みます。

(2) 子育て支援活動

「すこやか広場きょうぶん」「広場さぷり」等、乳幼児の親子支援活動を進めます。親子が気軽に参加できるように、また子ども達とのふれあいを通じ会員自身の生きがいにも繋げていきます。

「子ども安全見守り隊」は子どもの登下校の挨拶運動や見守り安全確保活動を継続します。

(3) 環境美化活動

①次の地域を月2回定期的に地域貢献として環境美化活動を継続します。

○天野川（河川敷、遊歩道の環境整備活動）

○岡東中央公園 ○楠葉中央公園ほか ○けやき通り

②本年度も「ナルクデー2024」として実施します。

実施日：2024年4月13日（土）（次の3会場で実施）

・岡東中央公園 ・楠葉中央公園ほか ・けやき通り

③「天野川クリーン&ウォーク」

10月26日（土）に実施予定で多数の参加を呼び掛けます。

(4) その他外部活動

①ひらかた市民活動支援センターや社協開催のイベントに積極的に参加します。

- ・サプリ村野NPOフェスタ、防災学校
- ・赤い羽根街頭募金、社協福祉フェスティバル

②「青色防犯パトロール」は、活動を開始以来重要な地域貢献活動として定着しています。

本年度は登録車7台で枚方市内全域の子ども見守りと街頭犯罪の抑止として巡回し地域防犯に寄与します。また、新規活動登録者の増員を図ります。

3. 事業活動

佐野友保・近藤秀子・和田亮吉

本年度も枚方市から次の事業の受託と認可を受け運営していきます。

(1) 事業 A：行政からの情報入手に努め対応可能な新規事業に積極的に取組ます。

(2) 事業 B：生涯学習情報プラザ（受託事業）

①本年度より、4年間受託契約を更新し新体制で取り組みます。2F情報ルームの施設運営は、9時～21時で二人体制に変わります。勤務体制・運営マニュアルを改訂し市民が安心して対応できるように取り組みます。

②本年度よりデジタルサイネージ（電子掲示板）や館内Wi-Fiが設置されます。運営に活用するためにできることを明確にして導入を進めます。

③引き続きミニ体験講座受講テキストの改善、新たに PowerPoint 講座の新設、講師のスキルアップでより判りやすい講座説明、受講率の向上を図ります。

④スタッフを補充し、スタッフ全員の協力で安心して業務に取り組める体制を推進します。

(3) 事業C：枚方市生活支援員養成研修（受託事業）

枚方市生活支援員養成研修を6月と11月の2回実施し「ナルクすこやか」への登録を進めて支援員の増員を図ります。新規講師を起用し刷新を図ります。

新年度受託にあたりテキストの修正箇所为正誤表作成を行政に頼みました。「広報ひらかた」に支援員の必要性 PR 記事の特集を組んでほしいと要望します。

(4) 事業D：生活援助訪問事業「ナルクすこやか」（認可事業）

生活援助訪問事業は、再認可2年目の活動となり、前年度の支援者不足には充足できるよう取り組んでいきます。具体的には支援員養成研修の新規受講者増が必須であるため、受講者増を行政にも働きかけていきます。感染予防には引き続き留意し、活動を実施していきます。

4. 同好会活動

向井範雄

同好会は誰もが気軽に参加できる活動であり、現会員の参加はもとより、退会者を防止し、新会員の確保のための一役を担い「楽しいナルク」の実現のため、ふれあいルームの活用、新規同好会の発足に工夫を凝らし同好会が身近な存在に感じられるよう努めます。参加目標を3,000名とします。

地域への奉仕活動にも同好会の特長を活かし積極的に参加できるよう支援します。

5. 会員活動促進

向井範雄・西川昌子

会員で良かったと思えるよう、会員相互の連携と会員個々が活動を通じて生きがいと明日への活力、喜びを得られるよう各活動に取組みます。

(1) 地区会

①「天の川クラブ」の活動の原点として1地区当り年2回以上の地区会開催を目標として、地区の人間関係の繋がりが密になるよう努めていきます。

②マンネリ化しつつある地区会内容について適宜地区間にまたがる情報交換やノウハウが共有できるよう努め、又高齢化等による参加を躊躇される会員への参加お手伝い、参加しやすい環境づくりに努めます。

(送迎実施、身近な提供活動等)

(2) 会員研修

会員研修はボランティア活動に必要な心得と知識を高め、会員同志の交流を図り、ボランティア活動に生きがいを見出す大切な研修です。

枚方拠点の会員のみならず、北河内地区の近隣拠点や広く一般市民も参加してもらえるように工夫し、次の研修を開催いたします。

- ①聞いてみよう、お薬についての講演会 7月（定員50名）
- ②笑い与健康体操講座 11月（定員60名）
- ③コーディネーター養成講座 2月（定員20名）

（3）イベント

今年は創立30周年記念行事として、次のイベントを実施します。

- ①定時総会・記念式典： 6月 6日（木）・「総合文化芸術センター別館」
- ②記念イベント : 10月16日（水）・「総合文化芸術センター別館」

（4）活動区分別交流会

同じ活動に取り組む会員が活動に際しての課題その解決策について、情報交換や連携を深めて共有化を図り、一体感ある活動が推進できるよう年2回程度の交流会開催を働きかけます。

今年も新しい活動者が参加しやすいよう開催日・場所・小規模等に留意し、各活動の活性化に繋げていきます。

6. 事務局活動

岡本年昭

- ①事務局として「天の川クラブ」の動向を常に把握して、情報の共有化に努め、窓口として親しまれ信頼されるよう対応します。
- ②会員管理の担当として、誤りのない活動実績入力及び適切な日々の管理、各会議等に必要データを提供を的確に行います。
- ③事務局要員が高齢化や健康問題で少なくなる状況にあり、引き続き事務局要員の補充に努めます。
- ④今年度も「ふれあいルーム」ギャラリーコーナーへの作品展示を継続します。今までに展示された会員も含め幅広いジャンルの情報と作品展示を募集します。

7. 広報渉外

向井範雄

- ①会報「天の川」は、広報紙としてタイムリーな内容、そして常に会員から親しまれ身近に感じられる情報の発信源を目指します。ホームページは1月から会員募集のコーナーを新設しました。
- ②引き続きナルク会報と会報「天の川」を公共施設に配布、ひらかた市民活動支援センター発行の「ひらせんナビ」にナルク記事を掲載してPRに努めます。
- ③ホームページは今後も見やすく、タイムリーな更新、役立つ情報の掲載などにより充実した内容を目指して取り組んでいきます。
- ④3月に行った、枚方市主催の「春休みボランティア体験」のように、行政及び関係団体との連携を強化します。